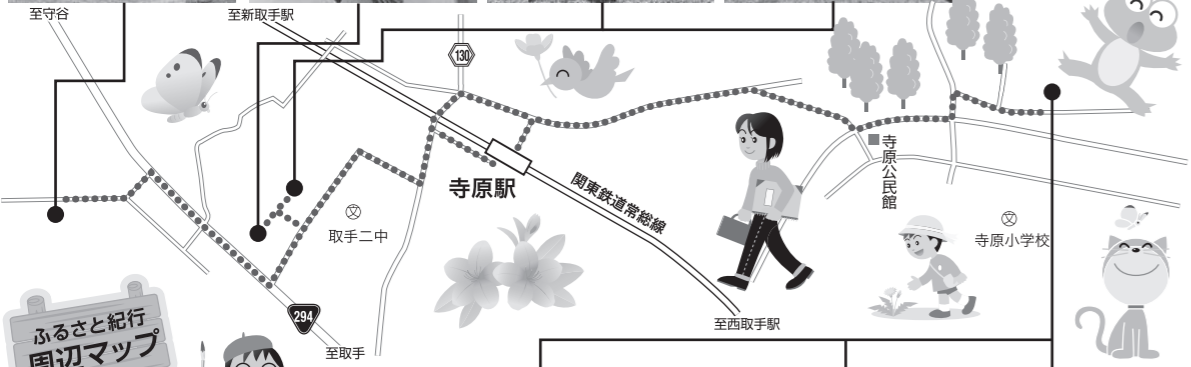


- おつきさま(こぶし公園)
- あらい(福祉交流センター)
- 空虚たる侵入者(取手市役所)
- 遙かなる憧憬(取手市役所)



アートのまち取手 寺原駅周辺の芸術作品

取手市役所には庁舎内や敷地内に多くの芸術作品が展示されている。取手市長賞を受賞した大作もあるので、探してみよう。



ふるさと紀行 周辺マップ

※見学の際はマナーを守り、近隣の方の迷惑にならないようご注意ください。

コースは季節を問わず楽しむことができます。新型コロナウイルス感染症拡大等の状況を考慮しながら、散策をお楽しみください。



●東漸寺



●東漸寺山門



●東漸寺観音堂

天正2年(1574年)に創建された天台宗のお寺。「観音堂」「山門」ともに県の有形文化財に指定されている。

元禄3年(1690年)の建立。両脇には仁王像が祭られている。平成の解体修理でより建築当初に近い形に復原された。

東国で江戸時代前期の建造物が現存しているのは大変貴重。現在の堂宇は寛文7年(1667年)に建立された。

● 散策コース ●

取手市役所の最寄り駅・寺原。南口から取手市役所に向かうと、まずは新庁舎前にある「遙かなる憧憬」のオブジェが迎えてくれる。島田忠幸氏の作品で、「我と汝を抽象的に表した作品」と説明文に書かれている。市役所中庭には第6回市長賞を受賞した内山士郎氏の「空虚たる侵入者」がある。穴を前にした猿の彫刻を見ると、何を考えているのだろうかと思いを巡らすはずだ。庁舎内にも日本画や漆芸、ガラス造形、彫金など、さまざまなアートがあるので、開庁している時には見ておきたい。市役所に隣接する福祉交流セ

ンターにも第24回市長賞を受賞した岩本依留羽氏の鍍金作品「あらい」など、多くのアートがある。こぶし公園には澄川喜一氏の彫刻作品の「おつきさま」があるので、足を伸ばしておこう。

アートのまち・取手を楽しんだら、観音堂と山門が県の有形文化財に指定されている名刹・東漸寺へ。六地藏が迎える参道の正面に山門があり、その後ろには樹齢600年超といわれる巨大なイチョウの木がある。むかし、乗馬したまま寺の前を通り過ぎる者は落馬すると言われ、目隠しのために植えられたと伝えられる。また、観音堂の隣にはクスノキがある。イチョウと並ぶ大木の根元は空洞になっているが、樹勢があり、見る人を圧倒する。

Vol.109

駅からのふるさと紀行 関東鉄道常総線

寺原駅

← しん どり で | に し どり で →

新取手 | 西取手

●次回は5月23日 掲載予定です。 ※イラストはイメージです。



広告

●平成15年に改築された北口の駅舎



●平成30年に新設された南口



●ホームは2面2線。構内踏切がある



**取手市役所の最寄り駅
平成30年10月には南口も完成**

関東鉄道常総線・寺原駅は大正2年11月、常総線の開業に合わせて設置された。取手市役所の最寄り駅であり、運行本数も多い区間のため、市民にとっては使い勝手がいい駅だ。西側にはバスの待機場が隣接し、県道130号線の踏切とバス専用の踏切が連なっているのが珍しい。

駅周辺は住宅地が広がり、公園も多い。北口にある駅舎はえび茶色の屋根にクリーム色の壁、そしてレンガが配されたモダンな造り。平成15年に改築されたもので、自動改札機を2台設置するなど、無人駅(平成25年2月までは有人)ながら充実した設備を誇る。平成30年10月には南口が新設された。歩道も美しく整備され、市役所へのアクセスも向上した。

駅名の「寺原」は旧村名。昭和30年に取手市の前身取手町と合併した村の名前を今に伝えている。

働く人と、世界を走る。

ISUZU

茨城いすゞ自動車株式会社

本社 / 〒310-0063 水戸市五軒町1-2-5 ☎029-225-1215(代)
https://www.ibaraki-isuzu.co.jp